



第 34 号

平成 30 年 10 月

会長 岡本 諒

パークゴルフ大会

男性の部は
宇加江さんが連覇

9 月 30 日（日）翌日台風の襲来が予想される中、曇り空ながら心地よい風が吹く良いコンディションとなりました。

参加者は男性 11 名女性 9 名合計 20 名で 5 組に分かれ、大ベテランから初心者まで実力にはかなり差があってもそれぞれ、冗談を言い合いながらプレーを楽しみました。

競技は日本パークゴルフ協会規則に則り 18 ホールストロークプレイ行われ、男性の部は昨年に引き続き宇加江和夫さんが実力を発揮して優勝、女性の部は田中栄子さんが 2 年ぶりに優勝しました。

商品は全員にもれなくお米「ゆめぴりか」が当たり、うれしい我が家へのお土産となりました。

大会成績 (敬称略)			
男性の部		女性の部	
優 勝	宇加江和夫	優 勝	田中栄子
準優勝	柳沢恒紀	準優勝	柴田恵子
3 位	田士守道	3 位	由利啓子



台風 21 号による第一公園と第二公園の被害状況

去る 9 月 4 日夜半、道内を襲った大規模台風 21 号は各地に甚大な被害をもたらしました。

我が北野中央自治会においては、日頃、会員が憩いの場として、また、自治会活動の拠点として親しんでいる北野第一公園と第二公園のナナカマドなどの大木が合わせて 7 本倒れるなどしたほか、大きな枝が折れるなどの被害がありました。中には道路側に倒れ交通の障害になるものもあり、早速清田区土木センターに依頼し撤去などの作業をしていただきました。

また、8 日は資源回収日でしたが、協力員の皆さんが作業終了後、第二公園で散乱している小枝などを拾い集めるなどの作業を行いました。

台風と地震、続けて発生した自然災害の恐ろしさに、改めて防災意識の向上と日頃からいざという時への備えの必要性を強く感じた週となりました。



第一公園



第二公園



第二公園を清掃する会員

会員の異動のお知らせ

・平成 30 年 3 月に 2 区 3 班の木田光夫さんが転出されました。

9 月末現在の会員数 323 名

敬老の日お祝い品贈呈

北野中央自治会では、毎年敬老の日に「喜寿」「米寿」「白寿」を迎えられた方にお祝品を贈呈しております。今年も9月17日の敬老の日に岡本会長と柳澤副会長がご自宅を訪問し、会員の皆様を代表してお祝いを申し上げ、記念品をお渡しいたしました。

今年の対象者は「喜寿」（昭和15年10月～16年9月生まれの人）14名、「米寿」（昭和4年10月～5年9月生まれの人）3名でした。「白寿」については該当者が居りませんでした。

一般的にはこれらのお祝いは、「数え年」で実施されますが、自治会では従来より「満年齢」で実施しております。

お祝を受けられた方々には今後とも益々お元気でご多幸を祈念するとともに、豊かな経験に基づく知恵を北野中央自治会運営にもお貸しいただくようお願い致しました。

自治会のホームページについて

「北野地区のホームページ」は北野地区町内会連合会が運営するホームページで平成25年に開設され、昨年リニューアルされました。

この画面から町内会連合会の他、各单位町内会のホームページやブログを見ることが出来ます。

ホームページでは、自治会の歩みや年間行事予定、役員名簿、さわやか青空便（カラー版）また、災害時の心構えや持ち出し品のチェックリストなどが掲載されています。

またブログでは各町内会・自治会の行事報告など新しい情報が掲載されています。下記によりご覧ください。

北野地区のホームページ

検索



スマホの
QRコード



「ホーム画面」 ➡ 「単位町内会」 ➡ ※13「北野中央自治会」

「ホーム画面」 ➡ 「北野地区各町内会のブログ」

住み慣れた地域で安心して暮らしていく地域力

隣近所の繋がりから専門機関へ（地域包括支援センターの活用）

札幌市清田区清田第1 地域包括支援センター

センター長 高谷 公子

9月6日未明に発生した北海道の胆振地方を震源とする地震。その前日に襲来した台風21号の傷が癒える間もなく、全道が停電に見舞われ一部では水道も止まり、かつてない非常事態に陥りました。余震の不安や不便な生活が続き皆様も心身ともにお疲れのことと思います。心からお見舞い申し上げます。札幌市内では、少しずつ平穏を取り戻しつつありますが、液状化や土砂崩れなどにより大きな被害にあった地域の復旧が1日も早く進むことを祈るばかりです。

平成7年の阪神淡路大震災で助けられた人の9割以上が隣近所やその場に居合わせた人により助け出されたとの調査結果や東日本大震災などを機に「日ごろからのつながりや、隣近所の大切さ」が見直されてきました。自然災害は時と場所を選ばずに我々に襲いかかってきます。とかく「自分だけは大丈夫」と思ってしまいがちの中、今回の地震では、停電で通信手段も途絶え、安否確認等を通じて地域のつながりの強さを確かめるきっかけとなったのではないのでしょうか。私達（地域包括支援センター）が、ご支援させて頂いております高齢者宅を訪問させて頂くと「心配して来てくれたのは貴方で〇人目よ。皆さんに声を掛けてもらって心強い」という方が多くいらっしゃいました。貴自治会様におかれましても、兼ねてより自主防災組織が設立されているとお聞きしています。いざとなった時に助けあえる地域づくりは、住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていくために不可欠な取組です。そして、隣近所で解決できない困りごとに気がついた時には、是非、専門機関にお繋ぎ頂けますようお願い致します。皆様の取組が更に充実し長く継続されますよう、私達、地域包括支援センターも一緒に考えさせて頂ければと思っています。

地域包括支援センターは、地域の高齢者のための専門機関です（札幌市から委託を受けて発足）。主な事業は、①総合相談・支援（高齢者に関する相談を受付、介護、医療、福祉、保健など、様々な制度や地域の社会資源の紹介）②介護予防ケアマネジメント（要介護認定で「要支援1～2」となった高齢者を対象に、介護予防ケアプランを作成。要介護認定で「非該当（自立）」または要介護認定を受けていない高齢者の介護予防の相談受付）③権利擁護（悪質商法などの被害防止と対応、高齢者虐待の早期発見と防止、成年後見制度の手続き支援等）④包括的・継続的ケアマネジメント支援（様々な機関との住み良い地域ネットワーク作り、地域のケアマネジャーのご支援）となっています。地域で暮らす皆様一人一人が、安心して暮らす事ができるよう、お力になりたいと思っています。『どこに相談したら？』と思ったら、お気軽にご連絡下さい。^{は は い い な い な}（888-1717）